



歌 感動の玉手箱
津

感動の玉手箱・歌津

母なる太平洋に抱かれた、ふるさと歌津。

南三陸金華山国定公園の北端に位置し、

太平洋に長く突き出た歌津崎、

リアス式海岸特有の深い入り江をなす

伊里前湾などの海岸線は、

いつの時代も変わることなく波を受け止め、
美しく、確かな時を刻んできた。

この紺碧の海を、二億四千二百万年前もの昔、
魚竜ウタツザウルスが泳いでいたのだ。

そんな太古のロマンあふれる海は

一方で恵みの海もある。

沖合の金華山・三陸沖漁場は世界三大漁場。

独特の地形と豊かな森の恩恵を受け、

カキ、ホタテ、ワカメなどの育む漁業も発展した。

海はいつも町の歴史を見守り、

私たちの生活の中にあったのだ。

町のシンボル田東山の山頂からは

大海原のまた違った表情を見ることができる。

沖の彼方には金華山が見え、

春、山がつつじの紅色に染まり活気あふれる

季節を迎えると、海の輝きもよりいっそう増す。

雄大にして繊細な自然の美しさを

目にするたび、その懐の深さ、力強さに

心を揺さぶられるのはなぜだろう？

この海と大地に育まれ、私たちは歩んできた。

そして、あたたかな心のふれあいを重ねてきた。

自然を愛し、伝統を守りながら、

培ってきた新たな活力、薫り高い文化。

いつの日も、こどもたちのはじける笑顔が
似合う町、感動に満ちた町であるために。

生命力あふれる南三陸の海を泳ぐように、

私たちは日々感動しながら、前進していく。
ふるさと歌津は、これからも輝き続ける。

歌津町民憲章

私たち歌津町民は、
靈峰田東山と広大な太平洋に理想を求め、
うるおいのある平和な町をつくるため、
この憲章を定めます。

一、心身を鍛え礼儀を守り
明るい町をつくります。

一、勤労を尊び生産に励み
豊かな町を造ります。

一、教養を高め文化を築き
住みよい町をつくります。

歌津町長 牧野 駿



歌津町は、宮城県の北東部、本吉郡のほぼ中央部に位置し、北西に靈峰田束山を配し、東面は太平洋に臨み、リアス式海岸一体と田東山山頂部は、南三陸金華山国定公園の一角を形成しています。遥か太古の昔から、海、山、大地の恩恵を受け継いで、有史以来一つの村落として合併も分離もされることなく開拓され今に至っています。

明治二十二年の町村制のもとに人口二九〇四名、五〇四世帯の農、漁、山村として発足以来百十六年を迎え、更に昭和三十四年四月、皇太子殿下御成婚時に町制を施行し四十六年となりました。先人の英知とたゆまぬ努力により、幾多の困難と試練を乗り越えて豊かな風土、多様な文化を育みながら着実に発展し住みよい町を築いてまいりました。そのご労苦を思うとき、感激ひとしおの思いが胸に迫ります。

平成の時代に入り、景気の長期低迷、少子高齢化の進展、更には行財政の効率化と地方分権を目指した市町村合併気運の厳しい現実を痛感し、将来ともに持続的な住民の幸せを思い、行政面、生活面、産業面でのつながりの深い志津川町と更なる福祉の向上や行政の効率的運営を目指して、来る十月一日に合併し、「南三陸町」が誕生します。合併の協議が始まつて以来、議員各位をはじめ町民皆様方のご理解とご協力により今日を迎えることが出来ましたことを心より感謝申し上げます。

このたびの合併により歌津町としての幕を閉じることになりますが、「歌津」が無くなるわけではありません。今後も地域の皆様のお力を得て、安全で安心して暮らせる町づくりを更に進めていくことに変わりはありません。

新町の将来像は、「豊かな自然、集う人々、やすらげるまち、そして、にぎわい」とし、「自然との調和の中で人々が交わり、魅力を創り出すまち 南三陸町」をサブタイトルに、新町建設計画の具現化に努めるものと確信しております。

この記念誌は、閉町をテーマに歌津町の歩みを、次代を担う人々に伝え残すために、町の様子をより広くご紹介いたしました。懐かしい写真や手記等協力いただきました皆さんに感謝を申し上げます。

最後になりましたが、これまで地域発展に尽力されてこられた方々、歌津町民の皆様方に對し改めて感謝申し上げ、皆様方のこれからのご活躍とご健勝、さらに新生「南三陸町」の発展をお祈り申し上げ、閉町にあたつてのごあいさつと致します。

歌津町議会議長 阿部 建



歌津町は、明治二十二年四月市町村制が施行され歌津村が誕生、以来一一六年間にわたり明治・昭和の大合併が推し進められながらも、弛まぬ努力と研鑽に励み自立の道を選択し、数々の歴史と伝統を築いて今日に至りました。

しかしながら、平成に入り、国は地方分権社会の推進、少子高齢化社会への対応、国・地方の厳しい財政状況への対応、さらには、多様化・高度化する住民ニーズへの対応、生活圏の広域化への対応を市町村合併に求める政策を打ち出しました。このことにより、全国的に合併気運が高まり、平成十八年三月末には現在の三、二三二市町村から一、八二二市町村に再編される見込みとなりました。我が歌津町も志津川町との合併が平成十七年十月一日に決まり、新たに南三陸町が誕生することとなり、「歌津」一一六年の歴史に幕を閉じることになりました。

歌津町を閉じることには限りない寂しさと、遺る瀬無い思いがいたしますが、これも偏に町民福祉の向上と将来思考の見地等を考えればこそこの決断であります。

どうかこれまで歌津町で培われてきた生活文化・伝統を生かしながら、新町の町づくりに対して今後ともこれまで同様に町民皆様方のご協力を賜りたいと存じます。結びに、町民皆様方のご健勝・ご多幸と「南三陸町」の均衡あるご発展を心からご祈念申し上げ、閉町にあたつての御挨拶といたします。



46年 歌津町の

- ①歌津大橋開通（昭和47年10月）
- ②チリ地震津波伊里前商店街（昭和35年5月）
- ③気仙沼線全線開通（昭和52年12月）
- ④平成の森野球場完成、イースタンリーグ巨人対大洋戦（平成3年8月）
- ⑤⑥創作ミュージカル（平成16年10月）



創

昭和34年→昭和46年 (1959~1971)

昭和34年	4月	町制施行(総理府告示第90号)
昭和35年	4月	初代町長阿部權之丞氏
	人口7,394人	世帯数1,005世帯
昭和35年	4月	私立たつがね保育園開園
昭和35年	4月	国民年金業務開始
昭和35年	4月	国民健康保険制度開始
昭和36年	6月	歌津町公民館新築
昭和36年	6月	チリ地震津波襲来
昭和36年	6月	町長に阿部權之丞氏当選
昭和36年	6月	漁港整備事業開始
昭和36年	10月	国勢調査 人口7,052人
昭和36年	10月	世帯数1,080
昭和37年	3月	名足小学校校舎新築
昭和37年	11月	白山地区に電灯設置(無電灯地区解消)
昭和37年	4月	全住民検診開始
昭和38年	10月	学校給食共同調理場建設(小・中学校完全給食開始)
昭和39年	6月	町長に牧野興次氏初当選
昭和40年	4月	歌津町出漁会結成
昭和40年	6月	吉野沢にごみ焼却場落成(ごみ収集業務開始)
昭和40年	6月	伊里前川防潮水門完成
昭和40年	10月	学校給食共同調理場建設(小・中学校完全給食開始)
昭和41年	3月	上沢分校廢止(スクールバス運行開始)
昭和41年	6月	歌津町商工会設立
昭和41年	12月	伊里前小学校中央校舎増築
昭和42年	4月	歌津町交通指導隊発足
昭和42年	6月	明治100年記念植樹
昭和42年	6月	歌津郵便局舎新築
昭和42年	10月	歌津町文化財保護条例制定
昭和43年	3月	町長に牧野興次氏当選
昭和43年	4月	歌津町分校廢止(スクールバス運行開始)
昭和43年	6月	伊里前小学校中央校舎増築
昭和44年	3月	林道小屋の沢線開通(4,612m)
昭和44年	4月	農集電話開設(834戸)
昭和44年	6月	泊漁港二種漁港に昇格
昭和44年	10月	町章制定
昭和45年	3月	田東山分校廢止
昭和45年	5月	中西縫製株創業(現チトセソーアイニング株)
昭和45年	6月	全町有線放送開設
昭和45年	9月	ウタツギヨリュウ化石発見
昭和45年	10月	国勢調査 人口6,455人
昭和46年	4月	田東山レストハウス開設
昭和46年	5月	児童手当支給業務開始
昭和46年	6月	上水道事業に着手
昭和46年	7月	保原水産名足工場創業
昭和46年	8月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	9月	名譽町民に阿部權之丞翁推戴
昭和46年	10月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	11月	名譽町民に阿部權之丞翁推戴
昭和46年	12月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	1月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	2月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	3月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	4月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	5月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	6月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	7月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	8月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	9月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	10月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	11月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	12月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	1月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	2月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	3月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	4月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	5月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	6月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	7月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	8月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	9月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	10月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	11月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	12月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	1月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	2月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	3月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	4月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	5月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	6月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	7月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	8月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	9月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	10月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	11月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	12月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	1月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	2月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	3月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	4月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	5月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	6月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	7月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	8月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	9月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	10月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	11月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	12月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	1月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	2月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	3月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	4月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	5月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	6月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	7月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	8月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	9月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	10月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	11月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	12月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	1月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	2月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	3月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	4月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	5月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	6月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	7月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	8月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	9月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	10月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	11月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	12月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	1月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	2月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	3月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	4月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	5月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	6月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	7月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	8月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	9月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	10月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	11月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	12月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	1月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	2月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	3月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	4月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	5月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	6月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	7月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	8月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	9月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	10月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	11月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	12月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	1月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	2月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	3月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	4月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	5月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	6月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	7月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	8月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	9月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	10月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	11月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	12月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	1月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	2月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	3月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	4月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	5月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	6月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	7月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	8月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	9月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	10月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	11月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	12月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	1月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	2月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	3月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	4月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	5月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	6月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	7月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	8月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	9月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	10月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	11月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	12月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	1月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	2月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	3月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	4月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	5月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	6月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	7月	田東山経塚群11基発見
昭和46年	8月	田東山経塚群11基発見

追想 役場今昔

昭和47年 学校給食パン加工民間委託（朝日堂）
町長に千葉雄一氏当選
歌津中学校校舎落成
歌津大橋開通
志津川消防署歌津出張所開設

昭和48年 町道泊崎半島線県道に昇格

昭和49年 伊里前・名足小学校タイムカプセル埋設（開校百年記念）
上水道事業完成

昭和50年 伊里前小学校屋体・プール落成

昭和51年 ウタツギヨリュウ化石、国の天然記念物に指定
国勢調査 人口6,267人 世帯数1,235
世帯

昭和52年 町花（つつじ）、町木（まつ）、町鳥（かもめ）制定
國土調査事業開始
町長に佐藤榮太郎氏初当選

昭和53年 町史編纂に着手
田東山経塚群、県の史跡に指定
伊里前保育所、泊、港保育園が町立になる

昭和54年 町営バス運行開始
第1回田東山つつじまつり（歌津音頭発表）
無線放送開始
吉野沢に宅地分譲団地造成
上田クリニック医院開業
歌津歯科診療所（臼井医師）開業
宮城県沖地震発生

昭和55年 町営歯科診療所開設
国有鉄道気仙沼線全線開通（現JR気仙沼線）
名足保育園園舎落成

昭和56年 町営バス運行開始
第1回田東山つつじまつり（歌津音頭発表）
無線放送開始
吉野沢に宅地分譲団地造成
上田クリニック医院開業
歌津歯科診療所（臼井医師）開業
宮城県沖地震発生

昭和57年 町長に佐藤榮太郎氏当選
国勢調査 人口6,156人 世帯数1,271
世帯

昭和58年 町長に佐藤榮太郎氏当選
青年団コーラス全国青年大会最優秀賞受賞
名譽町民に梶原良雄翁推戴
町立港保育園園舎落成

昭和59年 歌津町商工会館落成
田東山及び海岸線国定公園指定
住民税電算導入

昭和60年 町制施行20周年祝賀実施
青年団コーラス全国青年大会最優秀賞受賞
名譽町民に梶原良雄翁推戴
町立港保育園園舎落成

昭和61年 歌津町商工会館落成
田東山及び海岸線国定公園指定
住民税電算導入

昭和62年 第1回田東山つつじまつり（歌津音頭発表）
無線放送開始
吉野沢に宅地分譲団地造成
上田クリニック医院開業
歌津歯科診療所（臼井医師）開業
宮城県沖地震発生

昭和63年 町長に佐藤榮太郎氏当選
青年団コーラス全国青年大会最優秀賞受賞
名譽町民に梶原良雄翁推戴
町立港保育園園舎落成

昭和64年 町長に佐藤榮太郎氏当選
青年団コーラス全国青年大会最優秀賞受賞
名譽町民に梶原良雄翁推戴
町立港保育園園舎落成

昭和65年 町長に佐藤榮太郎氏当選
青年団コーラス全国青年大会最優秀賞受賞
名譽町民に梶原良雄翁推戴
町立港保育園園舎落成

昭和66年 町長に佐藤榮太郎氏当選
青年団コーラス全国青年大会最優秀賞受賞
名譽町民に梶原良雄翁推戴
町立港保育園園舎落成

昭和67年 保健センター落成
寄木・泊浜・馬場・石浜地区畠地基盤整備事業実施
学校給食共同調理場吉野沢に移転新築
集中豪雨伊里前川氾濫 雨量295.7mm

昭和57年 家政学院廃止



集中豪雨伊里前川氾濫（昭和56年）



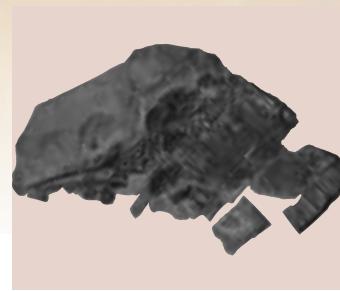
第1回田東山つつじまつり（昭和53年）



町営バス運行開始（昭和53年）



国有鉄道気仙沼線全線開通（昭和52年）



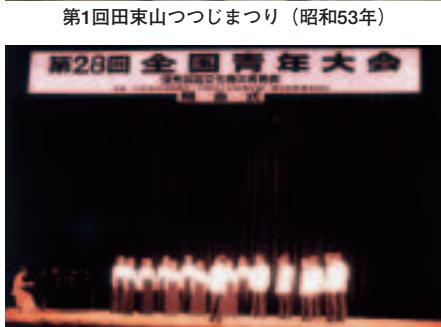
ウタツギヨリュウ化石国の天然記念物に指定（昭和50年）



学校給食パン加工民間委託（昭和47年）



保健センター落成（昭和56年）



青年団コーラス最優秀賞受賞（昭和54年）



吉野沢に宅地分譲団地造成（昭和53年）



国有鉄道気仙沼線全線開通（昭和52年）



歌津大橋開通（昭和47年）



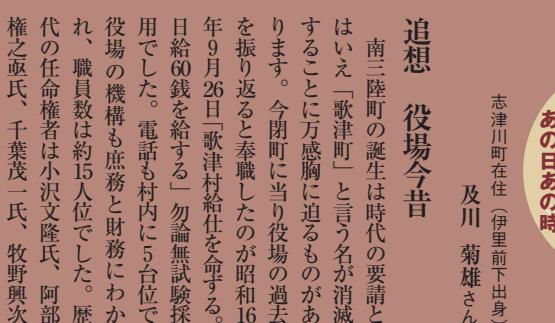
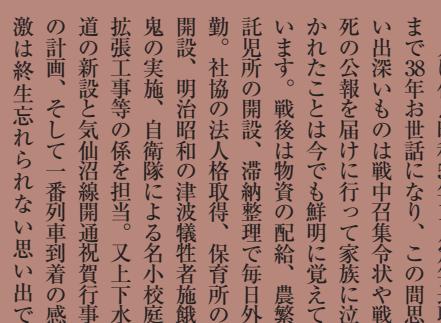
歌津大橋開通（昭和47年）



(伊里前上) 佐藤 たかしさん



国有鉄道気仙沼線全線開通（昭和52年）



歌津大橋開通（昭和47年）

昭和47年 伊里前・名足小学校タイムカプセル埋設（開校百年記念）
上水道事業完成

伊里前小学校屋体・プール落成

昭和48年 伊里前・名足小学校タイムカプセル埋設（開校百年記念）
上水道事業完成

伊里前小学校屋体・プール落成

昭和49年 伊里前・名足小学校タイムカプセル埋設（開校百年記念）
上水道事業完成

伊里前小学校屋体・プール落成

昭和50年 伊里前・名足小学校タイムカプセル埋設（開校百年記念）
上水道事業完成

伊里前小学校屋体・プール落成

昭和51年 伊里前・名足小学校タイムカプセル埋設（開校百年記念）
上水道事業完成

伊里前小学校屋体・プール落成

昭和52年 伊里前・名足小学校タイムカプセル埋設（開校百年記念）
上水道事業完成

伊里前小学校屋体・プール落成

昭和53年 伊里前・名足小学校タイムカプセル埋設（開校百年記念）
上水道事業完成

伊里前小学校屋体・プール落成

昭和54年 伊里前・名足小学校タイムカプセル埋設（開校百年記念）
上水道事業完成

伊里前小学校屋体・プール落成

昭和55年 伊里前・名足小学校タイムカプセル埋設（開校百年記念）
上水道事業完成

伊里前小学校屋体・プール落成

昭和56年 伊里前・名足小学校タイムカプセル埋設（開校百年記念）
上水道事業完成

伊里前小学校屋体・プール落成

昭和57年 伊里前・名足小学校タイムカプセル埋設（開校百年記念）
上水道事業完成

伊里前小学校屋体・プール落成

昭和58年 伊里前・名足小学校タイムカプセル埋設（開校百年記念）
上水道事業完成

伊里前小学校屋体・プール落成

昭和59年 伊里前・名足小学校タイムカプセル埋設（開校百年記念）
上水道事業完成

伊里前小学校屋体・プール落成

昭和60年 伊里前・名足小学校タイムカプセル埋設（開校百年記念）
上水道事業完成

伊里前小学校屋体・プール落成

昭和61年 伊里前・名足小学校タイムカプセル埋設（開校百年記念）
上水道事業完成

伊里前小学校屋体・プール落成

昭和62年 伊里前・名足小学校タイムカプセル埋設（開校百年記念）
上水道事業完成

伊里前小学校屋体・プール落成

昭和63年 伊里前・名足小学校タイムカプセル埋設（開校百年記念）
上水道事業完成

伊里前小学校屋体・プール落成

昭和64年 伊里前・名足小学校タイムカプセル埋設（開校百年記念）
上水道事業完成

伊里前小学校屋体・プール落成

昭和65年 伊里前・名足小学校タイムカプセル埋設（開校百年記念）
上水道事業完成

伊里前小学校屋体・プール落成

昭和66年 伊里前・名足小学校タイムカプセル埋設（開校百年記念）
上水道事業完成

伊里前小学校屋体・プール落成

昭和67年 伊里前・名足小学校タイムカプセル埋設（開校百年記念）
上水道事業完成

伊里前小学校屋体・プール落成

昭和57年→平成5年 (1982~1993)

3月	3月	2月	平成5年	町社協、入浴車による訪問入浴サービス開始
3月	3月	2月	平成5年	町特産品いちじくワイン「樂園のしづく」誕生
3月	6月	6月	平成4年	歌津中学校特別教室完成、パソコン20台設置
4月	4月	4月	平成4年	精神障害者小規模作業所開設
5月	5月	5月	平成4年	県内初、ナイター野球リーグ戦開幕
6月	6月	6月	平成4年	町長に牧野駿氏初当選
8月	8月	8月	平成4年	鹿島アントラーズ平成の森で合宿第1回歌津恋来い浜まつり開催
3月	4月	4月	平成3年	歌津中学校特別教室完成、パソコン20台設置
3月	4月	4月	平成3年	精神障害者小規模作業所開設
5月	5月	5月	平成3年	平成の森野球場完成、イースタンリーグ巨人×大洋戦
6月	6月	6月	平成3年	ふるさと創生大学第1期生開校
8月	8月	8月	平成3年	名足小学校「全日本学校緑化コンクール」特選入賞
10月	10月	10月	平成2年	老人福祉センター、ディ・サービスセンター落成
12月	12月	12月	平成2年	JR気仙沼線快速「南三陸号」歌津駅に停車開始
1月	1月	1月	平成2年	開村100年、町制施行30周年を迎える
2月	2月	2月	平成2年	郡内初「中学生たつがね駅伝競走大会」本町のコ
3月	3月	3月	平成2年	スで開催
4月	4月	4月	平成2年	田東山生活環境保全林整備事業開始
5月	5月	5月	平成2年	歌津・志津川両町森林組合が合併、志津川歌津
6月	6月	6月	平成2年	森林組合誕生
7月	7月	7月	平成2年	小屋の沢林道拡幅改良工事開始
8月	8月	8月	平成2年	町長に佐藤榮太郎氏当選
9月	9月	9月	平成2年	町営総合グラウンド造成工事
10月	10月	10月	平成2年	田東山生活環境保全林整備事業開始
11月	11月	11月	平成2年	歌津町議会議員定数を16人に改正
12月	12月	12月	平成2年	歌津町議会議員定数を16人に改正
昭和64年	昭和64年	昭和64年	昭和64年	天皇陛下崩御、年号が「平成」になる
昭和63年	昭和63年	昭和63年	昭和63年	松川ダム建設予備調査開始
昭和62年	昭和62年	昭和62年	昭和62年	満海上人400年祭
昭和61年	昭和61年	昭和61年	昭和61年	(被害額1億9千万円)
昭和60年	昭和60年	昭和60年	昭和60年	町史発刊
昭和59年	昭和59年	昭和59年	昭和59年	町内二農協合併、歌津町農業協同組合誕生
昭和58年	昭和58年	昭和58年	昭和58年	宮方地区水田基盤整備事業実施
昭和57年	昭和57年	昭和57年	昭和57年	農業共済組合が合併、氣仙沼本吉地方農業共済組合誕生



町特産品いちじくワイン「樂園のしづく」誕生(平成5年)



歌津中学校特別教室完成、パソコン20台設置(平成4年)



水産振興センター・魚竜館落成（平成2年）

(茎の浜)
阿部 文夫さん

ます。



名足小昔のあそび時間（昭和61年）

8月5日豪雨 被害額1億9千万円（昭和61年）



満海上人400年祭（昭和62年）



第20回町民運動会（昭和60年）



以前のように地域の海で生物が多く採取出来る様、一人ひとりが自覚して命を育んでくれる大切な海を守り、沿岸漁業で生活を営んで行く様になれば若者も漁に専念できるし、お嫁さんも昔の様に単純に迎えられる様になるかも。歌津村から町になる頃を現在でも私としては頭から離れない良い思い出として、そして南三陸町になつても自然を愛し山海を大切に生活を営んで生きたい。



茨城県つくば市在住
(泊浜出身)
三浦 富彦さん

鉄道のない町

45年も前の話です。大蔵本省（現財務本省）に赴任したとき、先輩の「歌津ってどこ、国鉄の最寄の駅は？」の問い合わせ。「石巻と石越ですか」との答え、「何キロある？」そんなに遠いところは最寄の駅とはか、根性のテストだつたらしく。

そのとき肝に銘じたものが2つ。1つは鉄道はないが自分には素晴らしい故郷があること、2つは東京に出たんだ、若いうちに勉強し幅広い知識を身に付けることが何よりの武器になることだと。

昭和52年12月11日、めでたく仙沼線は全線開通しました。私のなかでは、歌津町が全国に認められた最初と記憶しています。

私のなかの故郷は、泊浜から眺めた万物の母である大海原と、歌津の里を抱擁する田東山の雄姿とが展開する大自然ドラマです。これが、私の勇気の源泉であることに深く感謝し、最近は「ふるさとは歳を重ねて近くなり」の心境でもあります。

私は、この歌津町が全國に認められた最初と記憶しています。

昭和52年12月11日

めでたく仙沼線は全線開通しました。私のなかでは、歌津町が全国に認められた最初と記憶しています。

私のなかの故郷は、泊浜から眺めた万物の母である大海原と、歌津の里を抱擁する田東山の雄姿とが展開する大自然ドラマです。これが、私の勇気の源泉であることに深く感謝し、最近は「ふるさとは歳を重ねて近くなり」の心境でもあります。

平成6年→平成12年 (1994~2000)

2月 11月 11月 11月 10月 10月 9月 8月 8月 7月 7月 5月 5月 4月 4月 4月 1月 平成12年

ヨミの分別収集開始

町制施行40周年を迎える、名譽町民顕彰式・記念式典同時開催

名譽町民に畠山郁朗翁・佐藤榮太郎翁の両氏推戴
歌津町漁業協同組合女性部発足

歌津町健康づくり計画策定

ドイツ、ホルツマーデンより魚竜化石（1億8千
万年前）魚竜館に納入される

グループホーム「希望が丘」オープン

「世界（5ヶ国）の魚竜化石」特別展示

石泉地区に活性化センター「いづみ」オープン

町制施行40周年記念

NHKラジオ夏期巡回「ラジオ体操会」開催

交通死亡事故ゼロ2000日達成

山形県立川町と友好町締結

第7回中学生国外交流ドイツ、イタリア両国訪問
イタリア共和国ベザーノ町と国際友好都市盟約
締結（ベザーノ町長以下30名来町）

国際魚竜サミット「魚竜化石と自然史博物館」開
催

広域農道歌津工区開通式

津龍院で「龍の爪」12年ぶりに公開
歌津中学校創立50周年を迎える

歌津町漁業協同組合新事務所並びに漁業活性化
推進施設完成



イタリア共和国ベザーノ町国際友好都市締結(平成11年)



NHKラジオ夏期巡回「ラジオ体操会」開催(平成11年)



第10回記念東北ブロック・グラウンドゴルフ大会平成の森で開催（平成10年）

4月	小学生創作ミュージカル「第2回ふるさとイベン ト大賞」自治大臣から受賞
5月	歌津町在宅介護支援センター開設
6月	カナダから魚竜化石「シャスタザウルス」(レプリ カ)寄贈
7月	第10回記念東北ブロック・グラウンドゴルフ大 会平成の森で開催



庄域農道歌津工区開通式（平成11年）



立川町友好町締結（平成11年）



グループホーム「希望が丘」オープン（平成11年）

平成9年	ごみ収集に指定袋制導入
4月	JR歌津駅、乗車券・特急券・指定券等JR線全切符発売開始
8月	JR気仙沼線全線開通20周年を迎える
12月	町道白松線拡幅改良工事完成
3月	平成10年
10月	名足小学校校舎新築落成
9月	本吉郡中学校駅伝競走大会で歌津中学校初の男女優勝
6月	町長に牧野駿氏当選
4月	田内二浦協同組合 講習会



· 阿波人和他们的朋友 · 二三事 (一九四〇年) ·



名足小学校旧校舎



全国大学生科技创新竞赛（2013年）



全国大学生辩论赛新竹赛区（二〇一〇年）

さんと共に体の選考をお願い 優勝出来て喜します。私もが歌津町も46を残し10月1タートします 両町とも同じな産業形態でのお互いの リットを生か合併して良かたと思われる になることを うのです。



(港)

「みなと分校なかまへの手紙」
拝啓 港分校同窓生におかれましては、おことわら申上げます。
ることは皆様、ご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。
おぢやんから孫まで、3代にわたり学び遊んだ地元在住の分校仲間もしつりとふるさとで頑張つておりますので、安心下さい。
今度、市町村合併で、我が歌津町と隣の志津川町が合併し、この1月1日に「南三陸町」としてスタートするになりました。
皆さん、分校仲間として、愛郷の地「港」をあとにして何年が経ちますか。私たちの心のふるさまと、「港町史」による歌津町史によると、遠くは明治20年に設置された時代の変遷を経て昭和45年3月を以て廃校になるまでの実に80年余の歴史を、わたり港地区の生活文化の拠点として歴史を刻んでまいりました、昭和52年の鉄道の開通、粉塵を上げていて今、今は港海苔店の工場として、スレート葺きの校舎の一部に面影をとどめるだけとなりました。
私たちの思い出のいっぱい詰まった学舎が消えたことは残念ですが、交通網の発達により港地区は時代の移り変わり、大きな変化がございました。昔の面影をとどめないほど変わった、久須志神社は時代の移り変わりを見守りながら、今も、皆さんや、港地区民の安寧を願い静かに佇んでいます。
いつの時代も「港分校」は地区民の心の拠り所であり、「記念館主催する村祭りや、芝居映画鑑賞会など、娘達の少なかつた時代のみんなの楽しみの場でしたね。
「朝説み会（あさよみ会）」といつ夏休みになると、早朝に分校にあつまり、先輩が小さい子を面倒見ながら勉強させる、集まりがありましたね。
さんの心のふるさと、「港分校」に共に学んだ仲間として、これからも温かく見守り、応援してくださることとお慶び申し上げます。
新町になつても、「ふるさと港」はいつまでも皆さんを忘れません。
敬具

A black and white portrait of Shôtarô Hashimoto, a man with dark hair and a beard, wearing a patterned shirt. He is looking slightly to his left. The background is a floral pattern.

行政・議会

及阿加三阿及千及川阿三及三稻小菅原昭和
 川部部藤浦部川葉部浦川浦葉寺原昭和
 庄丑甚勝清久陽長左茂信留倉成太郎
 六郎一郎雄市三郎昇寬雄隆治雄
 及三川浦昭和35年6月補選
 千葉雄一
 阿部勝雄
 (昭和35年5月19日退任)
 阿加三三及三千渡三及小野寺原
 川浦橋葉浦辺浦川原阿部甚成
 長四郎陽三謙弥芳之助誠
 久信太郎清一郎長五郎
 正藏隆六庄甚三郎
 菅原昭和
 小野寺原
 阿部甚成
 倉之助
 雄
 (昭和34年9月17日退任)
 (昭和35年5月28日退任)

横大及男阿三及阿山加内及千三阿昭和42年4月
山坂川澤部浦川部内藤海川葉浦部昭和46年4月
利平清達丑菊陽久正勝大茂長甚三郎
太之助夫郎助三市孝雄典雄郎
平夫助三市孝雄典雄郎

及阿阿加阿及高大千三及川千三及小野稻菅山昭和39年5月19日退任
川部部藤部川橋坂葉浦新葉浦川葉原内昭和39年6月補選
庄丑甚勝久陽尚平長菊助一茂雄倉之助留治雄孝芳之進
六郎雄市三伍夫助一寬雄昭和42年1月22日退任
阿部勝雄

昭和58年4月
千及内三山及三高男大加佐三高横及及阿
葉川海浦内川浦橋澤坂藤藤浦橋山川川部
一国大捨正萬清春達平圭清森利茂清勝
太治太治太治太治太治之
成郎典郎孝一三治夫夫誠郎喜雄平雄助雄

阿三内及千及大三村千及及菅山山
部浦海川葉川坂浦上葉川川原内内
清大国一俊徳治幸教 憲孝義
建人典郎成夫夫海雄行均徹行樹申
現在

佐 畠 梶 阿
藤 山 原 部
榮 郁 良 権

◎**名譽町**

14 13 11 9 7 6 5 3 2 初
12 10 8 4

三 江 千 佐 佐 小 佐 梶 佐 高
名 央 佐 央 佐 央 佐 央

◎**歴代教**

18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3

三 三 山 佐 千 男 及 及 阿 大 及 及 稲 三 加

民	育長(就任年月)	政 吉 （昭和28年4月）	圭 太郎 （平成5年4月）	茂 雄 （昭和46年5月）	陽 留 治 （昭和41年1月）
朗氏 郎氏 〈平成11年4月推載〉	亟氏 雄氏 〈昭和54年11月推載〉	勝十郎 （昭和37年10月）	達 一郎 （平成7年5月）	平太夫 昭和50年5月	寬 雄 （昭和36年2月）
	良雄 （昭和41年10月）	清之助 （昭和54年5月）	清 成 （平成3年4月）	茂 雄 （昭和46年5月）	昭 三 （昭和42年5月）
	榮太郎 （昭和49年10月）	圭 太郎 （平成5年4月）	圭 太郎 （平成5年4月）	平 庄 六 （昭和44年2月）	昭 留 （昭和38年5月）
	治 （平成13年10月～現在）	清 人 （平成15年5月～現在）	清 人 （平成11年4月）	平 太 （昭和53年10月）	雄 （昭和41年1月）
	英 孝 （昭和59年10月）	清 人 （平成15年5月～現在）	清 人 （平成3年4月）	清 之 助 （昭和54年5月）	雄 （昭和36年2月）
	直 雄 （昭和59年10月）	清 人 （平成15年5月～現在）	圭 太 （平成5年4月）	圭 太 （平成5年4月）	雄 （昭和41年1月）
	早 苗 （昭和51年3月）	清 人 （平成15年5月～現在）	清 人 （平成5年4月）	清 之 助 （昭和54年5月）	雄 （昭和36年2月）
	三 次 （平成2年10月）	職 務 代 行	圭 太 （平成5年4月）	圭 太 （平成5年4月）	雄 （昭和41年1月）
	夫 （平成9年10月）		清 人 （平成15年5月～現在）	清 之 助 （昭和54年5月）	雄 （昭和36年2月）

歷代議員



収入役 町長 助役
大津 三郎 牧野 駿 阿部 東夫

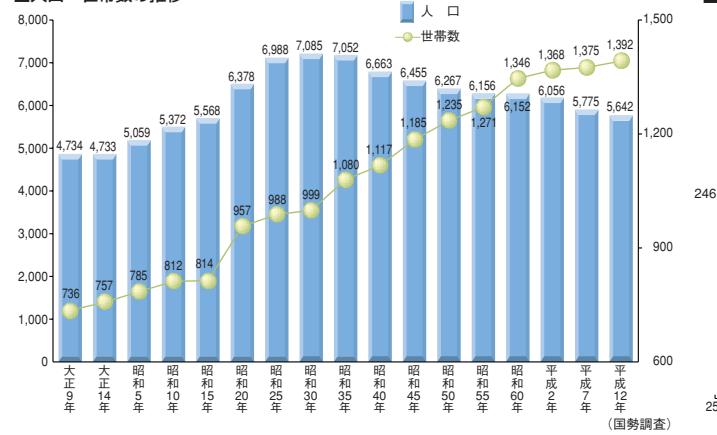
(昭和旅行後)



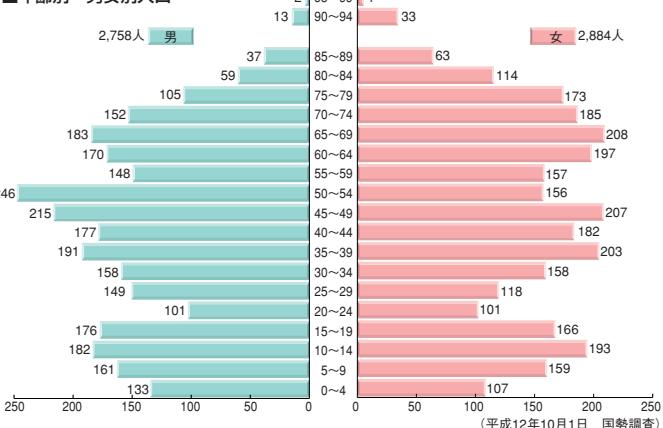
Digitized by srujanika@gmail.com

資料編

■人口・世帯数の推移



■年齢別・男女別人口

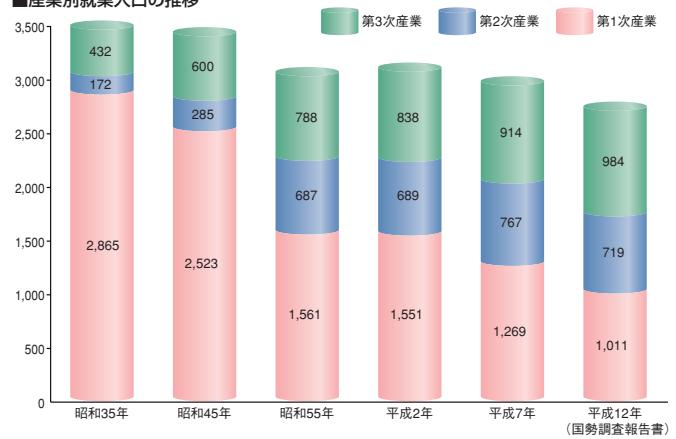


■行政区別人口・世帯数

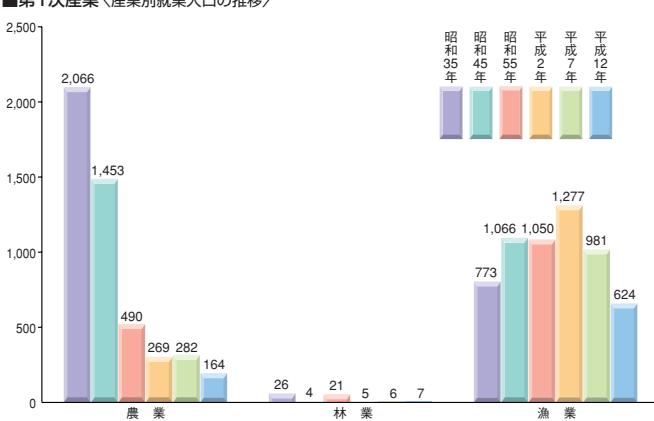
行政区	男女別人口			年 齢 别 人 口										
	男	女	計	0~9歳	10~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80~89歳	90~99歳	100歳以上
払 川	12	8	25	43	4	4	1	6	4	5	8	7	3	1
上 沢	33	52	53	105	6	6	9	10	15	18	17	10	13	1
橋 の 口	13	24	27	51	0	9	1	0	11	9	2	10	9	0
中 在	25	41	43	84	9	5	16	11	6	10	10	9	5	3
石 泉	88	164	153	317	27	46	33	28	46	60	32	26	16	3
垂 の 浜	71	141	160	301	25	19	28	37	36	43	49	38	42	2
寄 木	46	103	98	201	13	32	12	18	36	23	27	30	9	1
伊里前上	202	313	344	657	62	95	46	67	90	99	69	88	35	6
伊里前下	203	307	336	643	49	80	62	71	89	118	72	55	42	5
館 浜	79	180	171	351	33	34	37	42	47	50	35	49	21	3
泊 浜	134	301	297	598	44	63	58	64	90	97	62	71	42	7
馬 場	45	109	109	218	23	25	18	27	29	23	29	32	10	2
中 山	54	114	131	245	25	34	13	33	34	25	36	27	14	4
名 足	148	281	282	563	62	77	51	70	81	69	64	65	18	6
石 浜	63	123	132	255	13	23	25	30	33	40	34	32	22	1
田 の 浦	97	194	210	404	25	60	39	40	61	52	43	57	25	2
港	122	263	257	520	42	57	48	63	57	86	66	57	36	8
計	1,435	2,728	2,828	5,556	462	669	497	617	765	827	655	663	344	56

(平成17年7月31日 住民基本台帳)

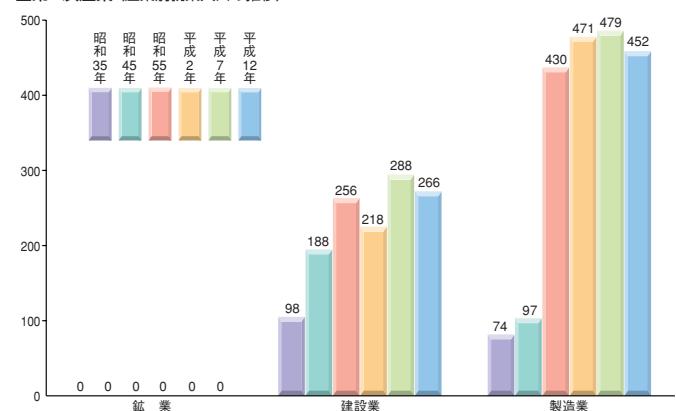
■産業別就業人口の推移



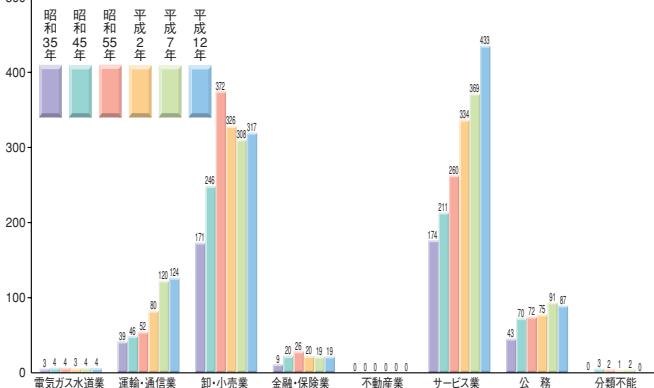
■第1次産業〈産業別就業人口の推移〉



■第2次産業〈産業別就業人口の推移〉



■第3次産業〈産業別就業人口の推移〉



誕生 8.3日に1人



結婚 20.3日に1組



転入 3.7日に1人



救急車出動 2.1日に1回



町の予算 町民1人当たり
479,440円

参考:平成17年3月31日現在の住民基本台帳 人口 男2,728人 女2,839人 計5,567人 世帯数1,433世帯
※1は17年度当初予算(一般会計)÷17年4月1日現在住民基本台帳人口(5,567人)で算出



死亡 7.5日に1人



離婚 60.8日に1組



転出 2.3日に1人



事故 5.9日に1件



消防団員数 町民23.0人に
1人



見る歌津町

イラストで



一世帯当たりの家族 3.9人



火災 182.5日に1件



消防団員数 町民23.0人に
1人

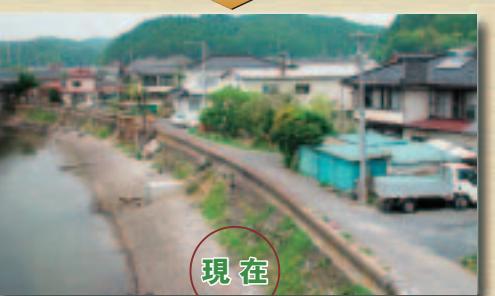
写真で見る

町の移り変わり

ばなな漁港（馬場地区）

伊里前地区の街並み

稻渕海岸



伊里前川河口

田東山

名足小学校



広報のピックアップ 移り変わり



2002・10月号



1993・5月号



1988・2月号



2003・12月号



1995・8月号



1989・4月号



2005・6月号



1997・6月号



1991・9月号



2005・3月号



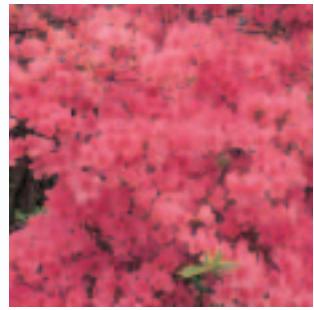
1999・4月号



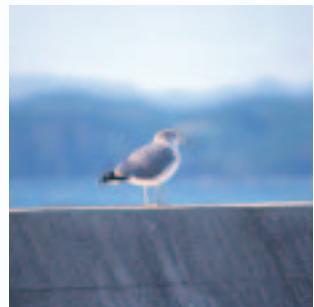
1992・7月号

本誌発刊にあたり、次の方々より写真掲載のご協力をいただきました。(五十音順)

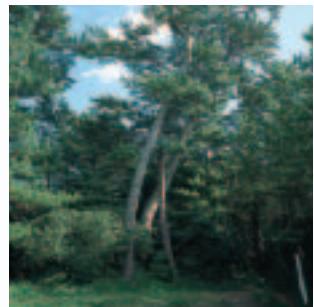
及川 国太郎さん(馬場)・及川 幸子さん(伊里前上)・及川 徹さん(伊里前上)・男澤 克己さん(埼玉県新座市)・佐藤 幸夫さん(伊里前上)・高橋 静男さん(伊里前上)



町花：つつじ



町鳥：かもめ



町木：まつ



町章

ウタツの“ウ”が原形で、
中心の部分は山と海を表
し、全体を円形にまとめ
たのは町の平和と発展を
強く表徴したものです。

歌津町閉町記念誌

企画・発行／歌津町企画観光課

平成17年9月

宮城県本吉郡歌津町字伊里前91番地

TEL 0226-36-2111

FAX 0226-36-2550

印刷／川嶋印刷株式会社